

第 25 回青年対策交流集会報告書

全港湾東北地方小名浜支部

書記長 堀井 淳平

今回私は初めて青対に参加しました。参加して感じたことは何かを得る為にはそれなりの知識が必要で団結して行動するという事です。今の若い世代は自分も含め、政治や世情についてあまり知らず自分達の生活や労働環境にどのような影響が出るか考えられていない状況にあると思います。そのため反対行動やデモを起こせず決まった事に従うだけになってしまっています。

そして、もっと昔の人達がやってきた事も知るべきだと思いました。鈴木委員長や松長書記長の講義を聞き資料やデータが残っているにもかかわらず自分達で調べようとしてないと言われ確かにそうだなと感じました。自分達である程度調べてからだったらもっと深い話や細かい質問ができたのではないかなと反省しました。また参加する機会があれば事前に講義内容を知り少しでも知識をつけて臨みたいです。全港湾の歴史やこれからの青年部についても先輩達に話を聞き今までやってきたことを参考にし、自分達の活動に活かして行きたいと思いました。

交流に関しても、初めて違う支部の人と同部屋で最初は気まずさや緊張がありました。分散会や懇親会を通して打ち解けて親交を深められました。部屋ではお互いの支部の状況、仕事内容などの違いに驚きました。他の支部の港見学などもして良い部分を取り入れたいとも思いました。そしてドッジボールにも団結して挑むことができました。初めはみんな遠慮気味でしたがやっていくうちに自然に盛り上がり応援や歓声があがりさすが全港湾だなと思いました。全国の仲間と学習したり交流したりするのはとても大切だと感じたので次回からも積極的に参加していきたいです。